

令和元年度千早小吹台小学校の教育を充実発展させるための提言について

※保護者の皆様より頂いた「本校の学校運営、教育活動についての全ての提言」についてお答えします。ご意見につきましては、誤字脱字は修正しておりますが、ほぼ原文通りの表現で記載させていただきます。

●スマホとの付き合い方について

「最近 SNS で知り合った人の所へ家出して行く事件などしばしば目にします。また、Tic Tok など子供が動画をアップして自分の個人情報公開してしまうこともあと聞きます。（〇〇小学校の〇年生ですなど）

グーグルでキーワードを入力すると簡単にいろいろな情報を手に入れることができますが、それが本当に正しいのか判断しなければなりません。

正しいこと、正しくないこと、ここまでは安全、これ以上は危険

情報が洪水のように流れ続けている今の身を（ネット上で、実生活で）守る知識が必要だと思いません。

→<ご提言に対して>

本当に今の子供たちを困む状況は、おっしゃる通りだと思います。学校でも同じように危機感を感じております。インターネットやスマートフォンは私たちの日常生活やビジネスに欠かせないとても便利なコミュニケーションツールとなっている反面、「ネット依存」「ネットいじめ」「誘い出し・なりすまし」「ネット詐欺」等のトラブルがあとを絶ちません。そういう背景を踏まえて、7月18日に本校で、『e-ネットキャラバン』という「全国規模で講師を派遣する出前講座」を行っていただきました。3・4年生と5・6年生に分けてそれぞれ講座を子供たちに受けさせました。内容は、「使いすぎてしまうこと」「ネットいじめ」「誘い出しやなりすまし」「ネット詐欺」「著作権」についてでした。子供たちは、ネットの怖さや注意点について理解していた様子です。

それ以外にも、6年生道徳では「気に入らなかった写真」という題材で友だちに勝手に写真をSNSに上げられた子の気持ちを考える授業を行いました。他の学年でも年間計画に基づいて、情報モラルについての指導を行っています。

高学年になるにつれてスマホを持つ子供たちも多くなり、夕食後などにもSNSでの会話を続け、学校が終わってからの会話の流れを担当が知らないまま次の日の子供たちの会話が続いているということでの指導の難しさも感じることもありました。

学校での指導に重ねて、ご家庭におかれましても、子供たちがアクセスしている内容を保護者が管理できるようなフィルタリングや、パソコンやスマホやゲームの約束を決めるなどのご協力をぜひお願いいたします。

●性教育について

「昭和・平成の時代では本やビデオなどで性に関する欲求や探究心を発散(?)していたように思います。しかし最近ではスマホで簡単に動画をみることができます。そして内容も過激なものが増えているのではと感じます。性に関して興味を持つことは自然なことです。自分の身体を知り、相手に優しい気持ちを持つ第一歩だと思うからです。しかし、その大事な大人の入り口に立った子供たちの目の前に、手軽に見られる過激すぎる動画があったらどうなるでしょうか。間違った知識は人を不幸にします。そのような動画は『ファンタジー』なのだとしっかり理解してもらいたいのです。また、アクセスするサイトが悪いと架空請求のえじきにもなってしまいます。(〇〇分〇〇秒以内に www.tttts:///com まで連絡ください 35000円とカウントダウンされるなど)親子で話すことも大事ですが学校でも一歩踏み込んだ性教育をお願いしたいです。長文失礼しました。」

→<ご提言に対して>

前のご提言のスマホとの付き合い方とも共通のこともあるかと思えます。『e-ネットキャラバン』では、自分の写真が出回ったらもう取り返しが付かないことや架空請求の怖さについての内容もありました。学校では情報活用能力やプログラミング的思考力を育てるための本格的な教育課程も新しい学習指導要領に合わせてこの4月からも始まります。ネットの情報だけを信じる怖さなども指導しています。今後も、社会情勢の変化を敏感に捉えて指導の充実に努めてまいります。

各ご家庭におかれましては、お子様がどのようなサイトにアクセスし、どれくらいの時間スマホをさわっているのかなど、約束を決めて管理することや適切なフィルタリングを導入するなどが大切だと思います。機種変更した旧機種をお子様と与え、その機種がキャリアとの契約がなかったとしても、スマホはWi-Fiにさえつながれば、ネットには自由にアクセスでき、SNSや無料通話もできてしまいます。もしご家庭に無線LANのWi-Fi環境がなくても、最近はコンビニやファストフード店など無料でつながるFREE Wi-Fiスポットが多くなっていて、どこでもつながる状態になりつつあります。こういったことを意外とご存じない保護者の方もいらっしゃるようなので、そのあたりのことをご理解いただき、お子様のスマホ管理についてよろしく願いいたします。

●金剛登山について

「保育園でも毎月登っています。小学校でもせめて年に1度は登ってください。ロープウェイではなく。」

→<ご提言に対して>

大阪府の最高峰「金剛山」は千早赤阪村の誇りであり、子供たちにも郷土愛を育む郷土学習や本校の特色ある学校行事の一つとして昨年度まで毎年実施してきました。

3年前までは、5月に公園に全校遠足、秋に全校金剛登山と全校遠足を2回実施していましたが、2学期は、運動会、音読発表会、修学旅行、金剛登山、バイキング給食と立て続けにある行事が6年生には特に負担になるということや授業時数の安定的確保のため1学期に移動して、全校遠足(金剛登山)を毎年実施するように変更しました。

「金剛登山」は、登山口から本道を上り山頂を経由してちはや園地まで行き、お弁当を食べて伏見林道を下りてくるというルートで実施していました。この行事の反省点としては、時間的に余裕がなく、お弁当を食べたらなかよし班で遊ぶ時間もわずかで、すぐに下山しなければならないこと。また、下山ルートの伏見林道は、コンクリートの急斜面で、足を痛める児童が毎年出るなどの課題がありました。

そこで、下山は、ロープウェイとすることで、お弁当後にちはや園地でたっぷり遊ぶ時間もできて、しかも危険な伏見林道を下山しなくてもよいという形になり、よし、これで安定的にこの行事を続けることができると思っていたところにこのロープウェイの無期限運休ということになりました。下見を春休み中にしなければならないこともあり、やむを得ず、今年度は錦織公園に場所を変えての実施としました。

また、もともと身体的な理由で登山道を登ることができない児童や教職員もいて、ロープウェイが運休していると全校遠足に全校児童全員が参加できないという理由があります。

本校としては毎年実施したい大切な行事として位置づけてきましたが、以上のような理由で場所を変えています。また、村の通学バス4台全てを使うこともあり、行き先が近いところに限定されるという事情もあります。役場に問い合わせましたが、残念ながら、ロープウェイ再開の目途はたっていないということです。

●作文・日記について

「作文を書く宿題がたまにあります、先生によってきちんと目を通して間違っている漢字の訂正をしてくれ、段落の書き方、表現の仕方の評価などを丁寧にしてくださる先生もいれば、ちゃんと目を通してくれているのかな？ただハンコ押すだけちがう？という先生もいらっしゃいます。これからは自分の意見を述べる記述問題や、作文を書かせることも増えてくると思うので先生によって指導方法がちがうのはいかなものかと思います。子供たちも一言何かコメントがあればうれしく思い、今後の励みになるとおもいます。」

→<ご提言に対して>

学校教育目標には「言語活動の充実」「伝える力、聴く力の育成」「自学自習力の育成」などをあげて、授業スタイルやノート指導についてのスタンダードを決めて共通の指導を行うことに努めてきました。

今回、宿題の「日記」「作文」について、担任によって指導のばらつきを感じられたことについて不安感を与える結果となり、申し訳ありませんでした。

ご指摘の内容は校内研修で伝達し、今後も少人数の良さを活かした丁寧な指導に努めてまいります。今後もお気づきになることがありましたら遠慮なくお知らせください。

●掃除について

「現在、廊下は掃き掃除のみを子供たちが行っていると思うのですが、ぬれぞうきん等を使つての拭き掃除も行ってはどうかと思います。廊下の素材上、拭き上げがしにくいとは思いますが、より美しい学校づくりをめざしていただきたいです。」

→<ご提言に対して>

本校の廊下は、ドットの凹凸のある樹脂で覆われています。その凹凸に汚れが入り込んでしまひ、黒ずんでいる所もあるようです。大変ありがたいご提言で、できるのかどうか、試しにぬれぞうきんとバケツを持ち出して、廊下を拭いてみました。大人の私が力を入れてゴシゴシ拭くと、凸の部分の頭が少しだけはきれいになりましたが、凹に入り込んだ黒ずみまではとれません。また、普段は滑りにくいので安全面ではすぐれていますが、ぬれぞうきんで濡れてしまうと滑りやすくなりました。一般的に廊下を拭き掃除するような体勢で進もうとすると、つんのめってしまひ、ぞうきんは丸まってしまいました。

この廊下は、おそらく回転ウォッシャー等の機械を使つて掃除するのが一番適しているのかと思います。業者に廊下の掃除を発注できないものか、教育委員会とも相談いたします。